

Lesson 2

Build-up1

A 主語と動詞/目的語/補語

1. Ms. Ito teaches English.
2. My sister is a college student.

B SV<第 1 文型>

自動詞の多くがこの文型で用いられる。主語と動詞だけが文の主要素で、これにいろいろな修飾語句をつけることができる。

3. Kate lives in New York.
4. There is a tree in the yard.

C SVC<第 2 文型>

be 動詞などの自動詞を用いた文は、主語と動詞だけでは意味が完結せず、その欠けた部分を補う補語が必要なものがある。補語になるのは、主語と同様に名詞、代名詞または名詞に相当する語句、および形容詞である。意味上、主語=補語の関係になる。

5. He is famous.
6. He became a doctor.

D SVO<第 3 文型>

主語と他動詞に次に目的語がつく文型。目的語にすることができる語句は次のような種類にものである。

「名詞」「代名詞」「to 不定詞」「動名詞」「句」「節」

7. He bought a new watch yesterday.

Build-up2

A SVOO<第 4 文型>

「A に B を～する」という意味を表すには、例えば「I explained it to him.」のように、第 3 文型に to A をつけばよいが、ある種の動詞は、O1（～に）と O2（～を）という 2 つの目的語をこの順に並べて表すことができる。これが第 4 文型である。

1. He gave Sally a ring.

B SVOC<第 5 文型>

2. We call our dog Elmo.

SVO に、さらに目的語を説明する語句「目的格補語」を補う文型。

C 自動詞と他動詞

主語と動詞の組み合わせで意味を表す動詞が自動詞である。

動詞の働きを受ける名詞を後に続けて意味を表す動詞が他動詞である。

3. She swims in the pool every day.

4. She often buys her clothes at that store.

D 注意すべき自動詞と他動詞

5. We discussed the matter.

discuss は、議論する内容を目的語として取る動詞なので、前置詞は必要ない。

6. I agree with you.

agree は「(提案や意見などに) 同意する」という意味の自動詞なので、後ろに名詞を置くことができない。従って、名詞の前に前置詞を置かなくてはならない。

7. Stand straight.

8. I can't stand this weather.

stand は自動詞で「立っている」、他動詞で「～を我慢する」という意味で使われる。